

社外で使える「社内通貨」

札幌のIT企業開発 秋にも事業化

ソフトウェア開発のクリエイティブ・コンサルタント(札幌)は「ブロックチェーン(BC)」と呼ばれる電子取引の記録技術を活用し、会社内で独自に流通させる「社内通貨」の新システムを開発した。社内通貨の多くは導入した会社内限りの利用を想定しているが、偽造防止など安全性の高いBC技術により、会社周辺の飲食店など社外でも使えるようにしたことが特長。今秋にも事業化する考えだ。

(生田憲)

BC技術活用 安全性高める

システムは、スマートフォンに専用アプリを入れて使用する。社内コンペなどで評価されると会社からコインが支給される。社員同士が仕事を手伝ってもらった「お礼」としてコインを贈り合うことなどもできる。

コインのやりとりは、BC技術を使って複数のコンピューターで同時に管理しており、偽造や複製がほぼ不可能とされている。このため導入した会社が提携する外部の施設などでもコインを安全に利用でき、スマホにQRコードを表示して

レジで読み取るだけで決済できるという。

クリエイティブ・コンサルタントは既に社内で実証実験を進めており、3月には一部の機能を搭載したアプリ「ハーベスト」の無償提供を開始。今秋の本格稼働後もアプリそのものは無償とし、企業の要望に応じた仕様の変更に有償で対応する。

同社は「社内通貨は社員のやる気やコミュニケーションを引き出すものだが、会社周辺でも使えるようにしたことで、地域活性化にも役立てられるのではないか」と話している。

